



小倉ロータリークラブ 週報

R I テーマ：“人類に奉仕するロータリー”

R I 会長：ジョン F. ジャーム 氏
(所属：チャタヌーガ RC)

地区テーマ：“基本に返って、 魅力あるロータリーに”

地区ガバナー：富田 英壽 氏(所属：甘木 RC)

クラブテーマ：“魅力あるロータリーに”

会長 伊与田 修 / 幹事 松永 浩



2016/10/29

表紙写真説明(テーマ/雲龍院の蓮華の間)

雲龍院は、御寺泉涌寺別院で、皇族の位牌堂の靈明殿もあります。蓮華の間の4つの障子窓から、“椿・灯籠・紅葉・松”が見えて、4シーズンの変化を楽しめます。

【撮影：辰巳会員 京都にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : krpc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

会報・雑誌 委員会 委員長：佐久間 康和

委員：森 浩明・板井 清記・成沢 裕・渡邊 昌春・井手 孝幸

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日の例会 第3316回

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・新旧役員挨拶

読まなくなりました。原因ははっきりしていて、老眼で小さい字を読むのが辛くなっただけのことです。以前から読みたいけれど機会のなかった本は沢山ありますので、少しづつでも読み始めたいと思います。

第3315回 例会 記録

6月16日（金）普通例会

- ・ロータリーソング “それでこそロータリー”
- ・卓話 松永文庫 学芸員 風 恵美 氏

幹事報告

松永 幹事

・本日配布しています、会員候補者入会に関してのお知らせが2名分あります。理事会では、会員増強選考委員会の意見をまとめた上、検討審議の結果、当クラブ入会に同意致しました。被推薦者の入会に異論がありましたら、6月22日までに文書をもって理事会までお申し出願います。

・来週は、今年度最後の例会です。場所をリーガトップに変更いたしますので、お間違えないようお願いします。新旧役員の挨拶を行います。該当される方は、伊与田会長、私、坪根 S.A.A 及び次年度副幹事、荒木次年度会長、角南次年度副会長、合馬次年度幹事、牧田次年度 S.A.A の7名です。もしご欠席される場合は、代読用に原稿をご用意下さい。一人3~4分くらいでお願いします。

会長の時間

伊与田 修 会長

“今日は何の日？”で検索すると色々出でますが、その中で、「ブルームの日」という文学がらみの日があります。これはアイルランドの作家、ジェイムス・ジョイスの小説「ユリシーズ」に由来するものです。物語は、冴えない中年の広告取りレオポルド・ブルームを中心にダブリンのある一日を多種多様な文体を使って詳細に記録したものです。この日付が6月16日です。私自身小説自体は知っていましたが、読んでいないので話をできる立場ではありません。ここ数年本を全く

出席報告

二村 委員長

2016年7月1日：64名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ	出席率
当時の出席	65名	35名	—	62.50%
先週の出席	65名	40名	23名	96.61% 修正後

◆ゲスト 2名

- ・卓話者
- ・巖 子龍 氏(米山奨学生)
- ◆ビジター 1名
- ・仁保 一正 氏 (小倉西)

ニコニコ献金

牧田 副SAA

22,000円：累計金額 641,170円

松永 浩 君

本日、米山奨学生の巖子龍氏が出席されています。日本語が堪能ですので、コミュニケーションを沢山とって、中国・日本の架け橋になって頂きたいと思います。これから宜しくお願い致します。

二村 吉則 君

福本さん、上田さん、ご活躍期待しています。

横山 定 君

転勤の為、退会することになりました。7年7ヶ月、お世話になりました。

前川 義広 君

退会します。お世話になりました。

松石 稔己 君

本日、小倉駅前にてうちわ、チラシ(北九州一沖縄線)を配ります。うるさくて済みません。15時からです！！

委員会報告

楽馬会同好会

村上(充) 会員

小倉の夏競馬の季節がやって参りました。7月30日(日)楽馬会を開催します。10時から15時半の好きな時間にお越し下さい。当日は沢山の当たり馬券を用意しておりますので、奮ってご参加下さい。

社会奉仕委員会

加藤(守) 委員長

今年度最後の早朝清掃は、明日朝6時からです。6月の朝は爽やかな風が吹いてとても気持ち良いです。早朝清掃でゴミを拾い、幸せになります。

米山記念奨学生紹介

巖 子龍 氏

生年月日

国籍 中国

奨学期間 2017年4月1日～2019年3月1日

在籍校 九州大学

専攻 医学



【松永カウンセラーからの紹介】

巖 子龍氏は、九大医学部第一外科で研修生として勉強されています。専攻は膵臓癌です。膵臓癌で私の友人も亡くなつたので、巖氏には頑張って頂いて、膵臓癌の生存率を上げてもらいたいと思います。日常生活では、研究室と食堂の往復しかしていないそうです。本当に真面目に勉強していますので、皆さん、あまり俗世間のことは教えないで下さい。中国との架け橋となって頂きたいと思いますので、宜しくお願ひ致します。

【巖 子龍氏の挨拶】

小倉RCの皆さま、こんにちは。さきほど、松永さんが僕の事を全部紹介してしまいました(笑)。チチハルは中国の一番北の方、黒龍江省から來ました。九州大学の第一外科で膵臓癌の研究をしています。皆さまのご指導を宜しくお願ひ致します。



卓 話

松永文庫 学芸員 田 恵美 氏

「たくさん恥をかきなさい

～苦手なことは成長のもと～



松永文庫は、映画関連資料やポスター、パンフレットなどを専門的に扱う施設です。もともとは門司区在住の松永武が、自ら収集した資料を公開する私設図書館を1997年に自宅を改装して開設したのが始まりで、2009年に資料全てを北九州市に寄贈し、現在は市の文化施設のひとつになりました。当初の約4年間は、門司市民会館の一隅で資料を公開していましたが、2013年に現在の旧大連航路上屋という門司港レトロ地区の西側の施設に移り、レトロの街の映画芸能資料館「松永文庫」として、再スタートしました。松永は今年82歳になりますが、当館の室長として、映画文化の発展のため、今もなお積極的な活動を続けています。

私は、当館が市の施設になった2009年7月にオープ

ニングスタッフとして採用されました。特に映画が大好きというわけでもありませんでしたが、縁あって採用され、それから市民会館で4年間、パート職員として勤めた後、学芸員として採用され、今年で8年が経ちます。

私はもともと学芸員の資格を持っていませんでした。主な仕事は資料整理ですが、この資料の山を出来るだけ良い状態で残していくにはどうすればいいか、今、自分ができることは何があるだろうかと考え、出した答えが学芸員という選択でした。通信制の大学を選び、提出課題に追われる毎日を過ごしてなんとか目標が達成できました。その後4月に、展示室をレトロ地区の改装中の施設に移転することになりました。私はありがたいことに学芸員として採用され、松永室長とふたり二人三脚で再スタートを切ることになりました。

新しい環境の中、人にも恵まれ、企画展や、それに関連したイベントも充実したものとなり、多くの来場者で賑わっています。おかげさまで市民会館時代の年間入場者数1万2千人から年間9万人に跳ね上がり、来場者の増加に伴い寄贈件数も急増したことで資料の幅に一層の深みを増し、松永のコレクションをベースとした所蔵資料は、現在、4万点を超えていました。

「映画」は時代を映す鏡だと良く例えられますが、娯楽商品であると同時に、世界の歴史を映像と音声で記録し、また表現してきた文化財でもあります。その時代を証言する貴重な資料として、文献資料や写真にも肩を並べるものではないでしょうか。これをできるだけ多く保存・公開し、未来に受け渡すことは、過去の文化を再発見し、創造する選択肢を増やすことになります。ですが、これはフィルムがきちんとした形で残されていればの話で、残念なことに、日本における戦前の映画フィルムの残存率は極めて低く、残っていない作品が大半です。

そこで注目されるのが、松永文庫にあるようなフィルム以外の映画資料、ノンフィルム資料といわれるものです。日本で唯一の国立映画アーカイブである東京国立近代美術館フィルムセンターでは、貴重な映画フィルムの保存活動をしていますが、それと同時に、近年ではこのようなノンフィルム資料の重要性に注目し、その収集・保存に力を入れています。

しかしながらたとえどんな貴重なものを集めてみても、ただ置いてあるだけではやはりただの紙の塊なんですね。それが資料と呼ばれるようになるには、整理する側の経験とセンスがとても重要です。松永が60年もの時をかけ、紙の塊から素晴らしい資料へと変化させました。そしてそれらが時に映画以外のことをしゃべり出す、これが松永文庫の資料の最大の魅力です。

費用も人も最小限、市の文化施設としては大変小さな松永文庫ですけれども、私設時代からコツコツと積み上げてきたことが、今実を結び、実績として評価されてきたことを実感しています。昨年5月、松永の長年に渡る映画文化発展に対する活動が評価され、日本映画批評家大賞特別賞を受賞しました。これは公共の

文化施設としては前例がなく、「映画の街・北九州」、その北九州に松永文庫ありということを全国規模で知つてもらうことができました。さらにこの年は、松永個人が「福岡県民地域文化賞」そして「北九州市民文化賞」と、3つのトリプル受賞を成し遂げ、今後の発展に向けての大きな自信につながっています。

松永文庫が成長をし続けている中で私の出来ることは、その資料達をより良い状態で残し、松永の思いと共に次の人に渡す、これしかありません。日々、資料整理のセンスを磨くことに専念しておりますが、それと同時に松永文庫を広く知つてもらい、貴重な資料を活用してもらえるようその存在を伝えなければなりませんので、時折このように人前でお話する機会もございます。毎回反省で、恥をかくようなことばかりですが、「苦手なものにチャレンジすることが成長のもと」という松永の教えを胸に、これからもたくさん恥をかいていこうと思います。

最後になりますが、最近の松永の言葉で心に響いたものです。「その道を知ろうとするものは素人で、その道で苦労するものが玄人」。今日、ここにいらっしゃる皆様は、それぞれの分野における、その道の玄人の方々だと存じます。私は、まだまだ道半ばの素人ですが、この道の玄人を目指し、これからも精進して参ります。



退会の挨拶

横山 定 会員

(㈱にしけい

北九州地区事業本部長 兼北九州支社長)



ロータリー歴 (7年6ヶ月)

2009年11月20日～

2017年6月16日

今思いますが、感慨深いものがありますが、親睦活動委員会をはじめ、色々な委員会を経験させて頂きました。あまりお役に立てませんでしたが、唯一、新世代奉仕(現 青少年奉仕)委員の時に、妻の後押しもありまして小倉駅前清掃皆勤を達成しました。昨年12月で60歳、定年を迎えたので、このまま北九州で、小倉RCにお世話になって過ごせるものと甘い考えを持っておりましたけれども、6月20日付で福岡の本社に行くことになりました。31年勤めていますが、本社勤務は初めてです。営業本部で改めて頑張って、最低65歳まで

は働きたいと思っています。本社は福岡市の天屋町にあります。近所のお店の勉強もしておきますので、近くにお越しの際は是非お声かけ下さい。短くもあり長くもありましたが、本当にお世話になりました。

前川 義広 会員
(西鉄バス北九州㈱ 代表取締役社長)



ロータリー歴 (4年9ヶ月)
2012年9月7日～
2017年6月16日

八幡東区にあるスピナに異動することとなりました。スピナといえば皆さん、スーパーを思い浮かべると思いますが、スーパー以外の仕事をするスピナという会社に行くこととなりました。名譽と伝統のある小倉RCで大過なく過ごせたのは、皆様のお力によるところが多いと思います。異動するなら福岡に戻るものだと思っていましたが、そこら辺の枝光のちょっと先のところに引っかかってしまいました。小倉でも業務を拡大したいと思っておりまますので、皆様に色々と助けて頂きたいと思います。引き続き、今までと変わらぬお付き合いをお願いします。本当にお世話になりました。

第2回次年度理事会 報告

1. 退会会員の件 (4名) … 承認

- ①上田 早苗 会員：日本放送協会 北九州放送局長
…6月2日付、転勤の為
②福本 智之 会員：日本銀行 北九州支店長
…6月2日付、転勤の為
③玉井 行人 会員：西日本新聞社 北九州本社代表
…6月23日付、転勤の為
④前川 義広 会員：西鉄バス北九州㈱代表取締役社長
…6月29日付、転勤の為

2. 新会員の件 (2名) … 承認 ※下線はチューター

- ① 佐竹 信也 氏：
TOTO㈱ 顧問
職業区分：224 衛生陶器製造業
推薦者：村上充生会員／荒木英生会員
所属委員会：親睦活動委員会

- ② 緒方 公一 氏：
日本銀行 北九州支店長
職業区分：611 中央銀行
推薦者：大迫益男会員／佐久間庸和会員
所属委員会：親睦活動委員会

3. 次年度委員編成の件…承認 適宜、新会員を補充していくこととする。

4. 次年度予算の件 … 承認

・財政改善の為、夫人同伴例会の夫人会費を減額、クラブ・フォーラムの会費を減額、親睦活動委員会の予算を増額することとなった。

・IMの登録料を例会費として会より支出することとなった。

5. 次年度行事の件 … 承認

・ガバナー補佐訪問およびガバナー公式訪問の2日間と、3月3日(土)のIMに多くの参加を呼び掛けることが確認された。

6. その他 …

①米山記念奨学会特別寄付の件

分割して少額で寄付出来る様、専用の封筒を作成することで話を詰めていくこととなった。

②長期委員会設置の件

今後話を詰めていくこととなった。

Cテーブル会合 報告

日 時：6月20日(火) 18時30分～

場 所：みのり

参加者：荒木、松永、合馬、原田(鉄)、八尋、坪根、前川、佐久間、高山



今年度最後のテーブル会合を開催しました。併せて、前川会員の送別会となりました。原田(鉄)の乾杯の音頭で始まり、荒木副会長に締めの言葉をいただきました。合馬副幹事からは、夏限定の焼酎が差し入れされ、美味しくいただきました。最後に、荒木副会長から前川会員に送別の花束を贈り、前川会員は、「北九州には居るので、また皆さんで飲みましょう。」と、おっしゃっていました。総勢9名で、楽しい会を締めくくりました。

【報告者：高山】

【次回例会予告】

7月7日(金) 普通例会

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・卓話 九州遮熱 代表 井上 哲一 氏